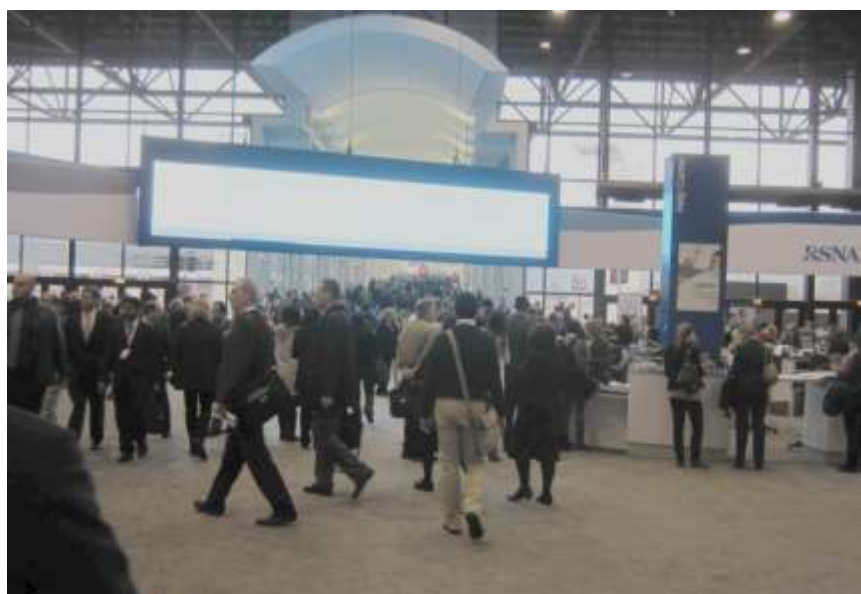


北米放射線科学会 (Radiological Society of North America: RSNA)に参加して

長田周治

アメリカのシカゴで開催された第96回 RSNA (学会期間: 2010年11月29日～12月3日)に参加させていただきました。RSNAは、ご存知のとおり、世界最大規模の放射線科学会です。アメリカ最大の総合コンベンションセンターであるマコーミックプレイスに、世界中から前年比2%増の5万8044人 (放射線科医は1万5801人)が参加。Scientific Formal (Paper) Presentations、Scientific Informal (Poster) Presentations、Education Exhibits で合計4369題の発表、Technical Exhibits では678社の医療機器メーカーが最新技術を展示発表しました。



Lakeside Learning Center の RSNA Services

大会初日は午前8時30分から行われた Opening Session に参加しました。マーチングバンドによる演奏に続いて、大会長であるコーネル大学医学部放射線科 Hedvig Hricak 教授の President Address を拝聴しました。教授は、「ゲノム解析によるテーラーメイド医療や個別化医療が広がりを見せている中、分子イメージングなど放射線医学の役割が更に重要になっている」と強調されました。

た。

骨軟部領域に関しては、3T 装置を用いた演題が多く、去年まで見られていた 1.5T 装置との比較による 3T 装置の有用性を解く演題は明らかに少なくなっていました。Sonoelastography の骨関節疾患への応用に関する発表があり、超音波の骨軟部領域へ応用は着実に進歩しているという印象を受けました。

これから RSNA に参加しようと考えている若い先生のために RSNA とはどのような学会かについて少し書きます。

RSNA は大きく以下の様なセッションに分かれています。

Plenary Sessions

全体会議や本会議などと言われるものです。全ての参加者が出席することを期待されているため、通常は最も広い会場で行われます。RSNA の基調講演、年次総会、イメージインタープリテーション、スペシャルシンポジウム、放射線医学に貢献した人への表彰などが行われます。

Multisession Courses

教育講演と通常の学術発表とを一つのセッションに融合させたものです。テーマごとに基本から最新の研究まで組織的に勉強できる利点があります。

Refresher/Informatics Courses

解剖などの基本から hot topics まで幅広い内容を網羅したレクチャーです。知識の整理にも役立ちます。専門領域を勉強し始めた若い先生や専門領域以外の先生向きのコースです。約 300 のコースがあります。

Scientific Formal (Paper) Presentations

日本医学放射線学会総会の一般演題と同じように、新しいアイデアや知見、テクニックにおける仮説駆動的な研究(hypothesis-driven research)を発表する場です。英語で発表し、質問に答えなければならないため、日本人のように英語圏以外の発表者にはやや敷居が高いことは否めません。しかし、近年、中国や韓国などアジアからの発表が増加傾向にあります。

Scientific Informal (Poster) Presentations

内容は上記の Scientific Formal (Paper) Presentations と同じですが、発表形式に違いがあります。発表者は各自割り当てられた時間帯 (30 分間)に、それぞれのコンピューターの前に待機しなければなりません。その研究内容に興味を

持った参加者が、個人的に色々と質問してきます。

Education Exhibits

電子ポスターと紙媒体のポスターがあります。画像的に特徴的なサイン、CT や MRI 画像と病理との対比、放射線科的な様々なテクニックや治療、インターベンションなどのレビューおよび教育的な発表です。ここには Radiographics 誌に投稿を招請されるような臨床的な題材が多く、イラストレーションも美しく、他では得られない知識を得る事ができます。その他、**Special Interest/Controversies/Hot Topics Sessions** などがあります。

幾つものセッションが各部屋に分かれて同時に行われます。学会前に参加したいセッションはチェックしておき、同じ時間帯に重なる場合は優先順位を付けておくことが大切です。Multisession Courses や Refresher/Informatics Courses などは事前に RSNA のホームページから予約が必要です。人気があるセッションでは満席となることがよくありますので、早めの予約が必要です。特に聴講したいものがない時間帯を利用して Scientific Informal (Poster) や Education Exhibits を見に行くといいかもしれません。

学会会場はかなり広く、人も多いため、会場にいるだけで、特に午後には時差ボケの影響もあり、どっと疲れが出てきます。そういう時は Lakeside Learning Center の Level 2, Hall E にある Residents Lounge を利用したらいいでしょう。ソファでゆっくりくつろぐことが可能です。また、サンドイッチやスナックなどの軽食、コーラやコーヒーなど全て無料です。短時間で簡単にお昼を済ませたいときなどはとても重宝します。

私は 3 回目の参加となりました。今回は発表はせず、主に聴講目的の学会でしたが、この様な機会を与えて下さいました早渕尚文教授をはじめ医局の先生および同門の先生に深く感謝いたします。